



ChloxiæE

アルティメットふたなりドラゴンガール！



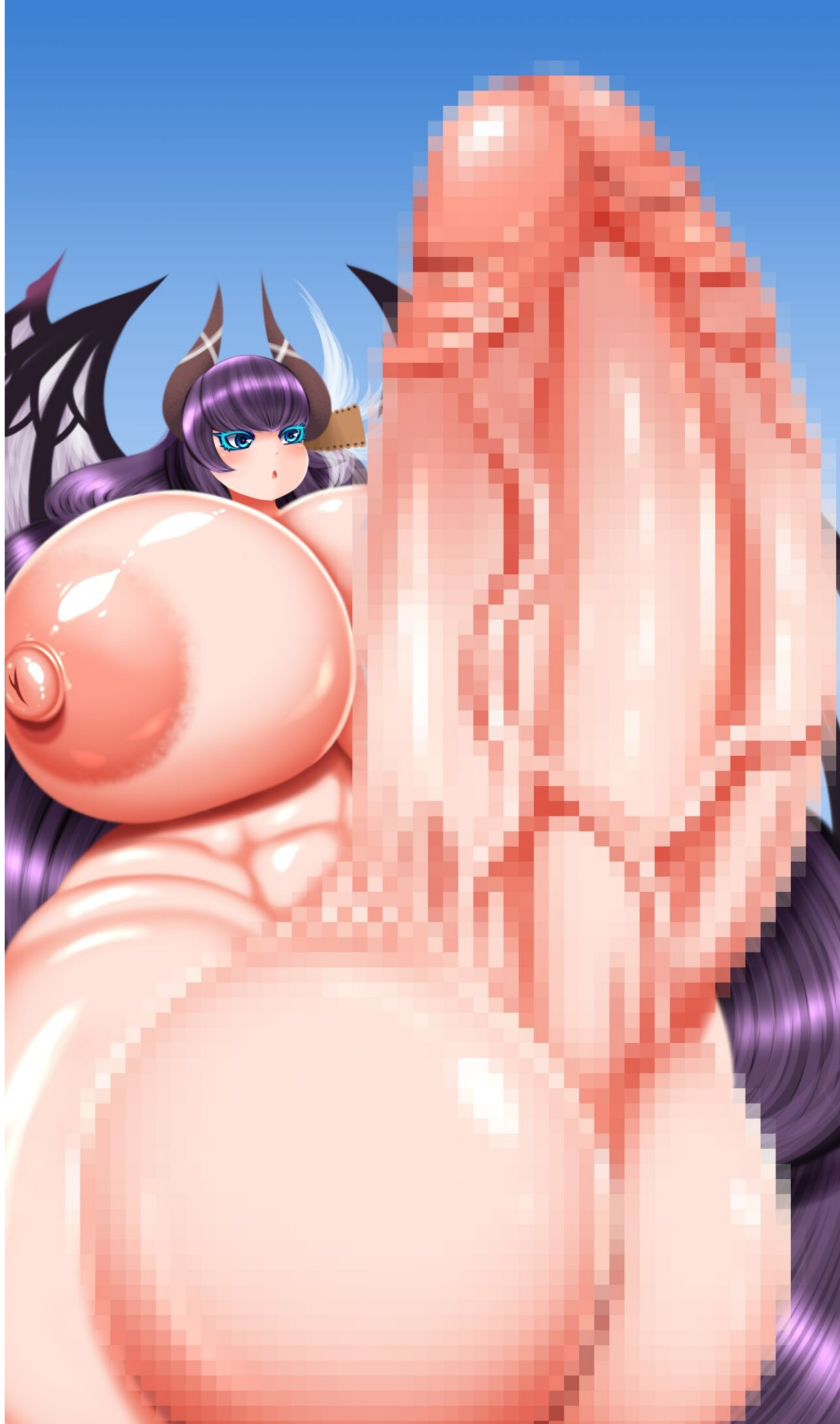
神話でもゲームでもドラゴンといえば最強格の生物である。
炎を吹き全てを焼き払い、村や街を踏み潰す…
そんなドラゴンにも”性欲”は存在するのだろうか
そしてその性欲が解放された時、世界はどうなってしまうのだろうか…



七曜クロエとはあるカフェで働くドラゴン娘。
大きなツノと翼と尻尾、そしてちんぽが生えていたが、
特に暴れる事もなく人間に危害を加えることもなかったため、
ドラゴン娘といえど危険性は無いとされ、
一般の人間と共存して人間と同様の生活を過ごしていた。

ある日だった。
クロエはいつも通りに制服に着替えていると、
スカートにちんぽが収まらないに気づく。
ちんぽがでかいとはいえ普段はスカートの中に完全に収まり、
ふたなりとも気付かれないレベルのはずだった。
しかし思い返してみれば日によって大きさが違っていたり、
何処かに擦れたりしたときに大きくなっていることは多々あった。
そして彼女には性欲が無く、
意図的にちんぽを刺激したことは無かった。
そこでクロエは思ってしまった。
「このおちんちん、思いっきり刺激してみたら
何処まででかくなっちゃうんだろう…？」

そのちょっとした疑問が世界の全てを大きく変えるとも知らずに…



外へと出て肉棒を刺激してみる。クロエがツンツンとちんぽを刺激しただけで肉棒は立ち上がり、
ビキビキと血管をうねらせながら雄々しく勃起していた。



勃起した肉棒をさらに手コキしてみた瞬間だった。
突如クロエのちんぽは怒り狂ったかのように隆起し、爆発的な巨大化をした。
そしてちんぽにつられておっぱいや肉体そのものも巨大化していく。



金玉に建物は薙ぎ倒され、すり潰されていく。
そしてその刺激が更にクロエのちんぽの巨大化を加速させていくのだった。

彼女の肉棒は興奮することで巨大化するだけでなく、本数も増えていくようだ。
自らの肉棒の力を知り、性欲を抑えられなくなってしまったクロエは、
この世界の全てを使ったオナニーを始める事となる…



巨大化したクロエが街に降臨する。
一旦萎えちんぽの状態とはいえ、既に巨大な金玉とおっぱいが街を粉碎していく。



おっぱいと金玉を地面に擦った衝撃でクロエのちんぽは勃起をし始めた。
最初の勃起とはいえ、既に最強ドラゴンに相応しい隆々たる肉棒が聳え立っていた。



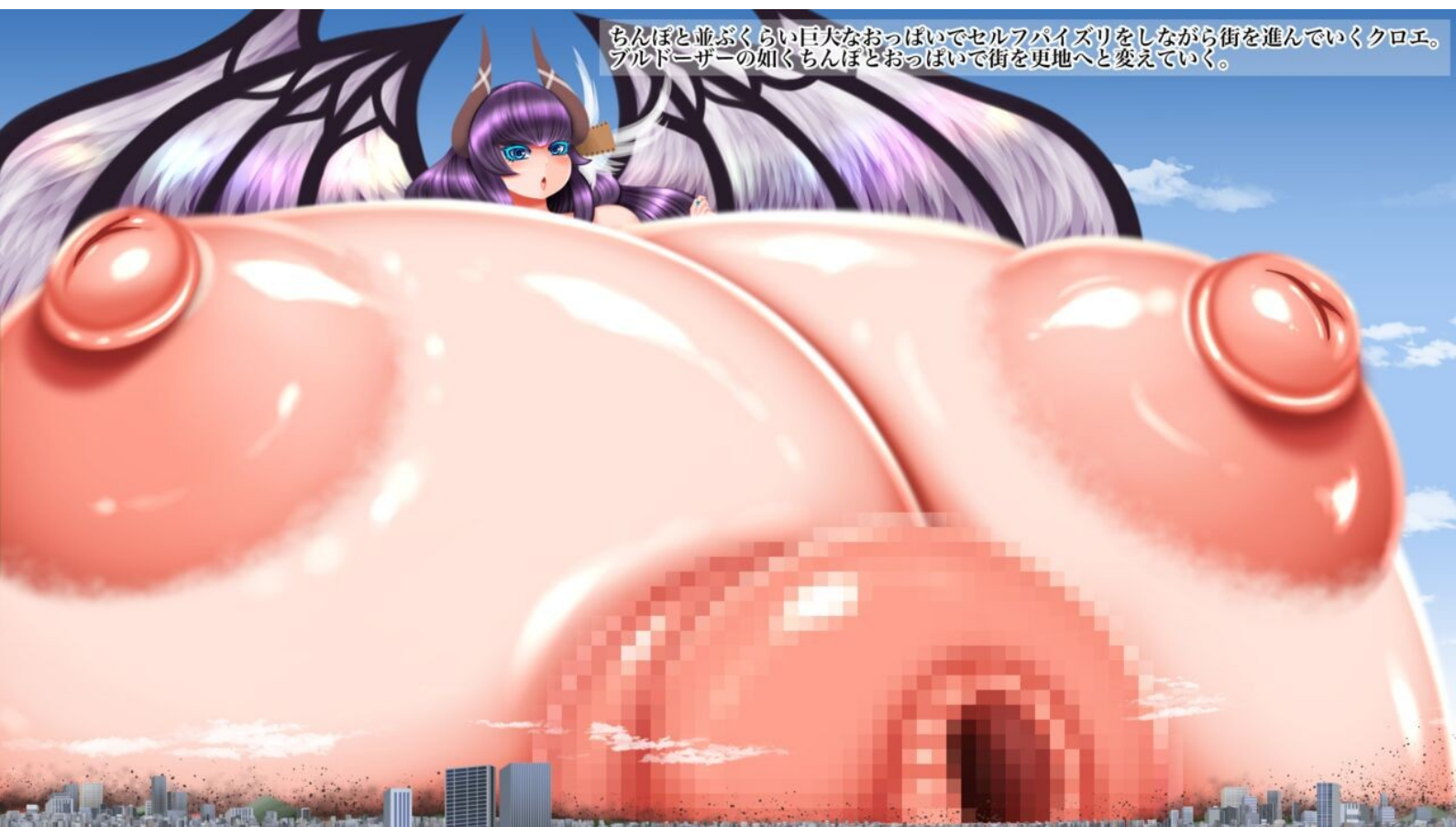
まずは最初の一発目の射精が吹き出す。
遠目で見れば噴水のような射精も、地上では1滴だけでも大惨事となる凶悪兵器となる。



まだ少しの本気も出していないのに、辺り一帯が全て精液で埋め尽くされてしまった。
まだまだ底尽きぬ欲求を満たすためクロエは次の街へと飛んでいく。



ちんぽと並ぶくらい巨大なおっぱいでセルフパイズリをしながら街を進んでいくクロエ。
フルドーザーの如くちんぽとおっぱいで街を更地へと変えていく。



鈴目の前の建物達は次々に鈴目から肉棒の中へと吸い込まれていく。
この街に与えられた選択肢はおっぱいに擦り潰されるか、ちんぽに呑み込まれるかの2択しかなかった。



突然、クロエはむせるかのように大射精を吹き出した。
この街で一番高いビルを遥かに上回る巨大な精子達が
呑み込みかけていた建物も目の前の建物も木っ端微塵に粉碎していく。



呑み込んでいたビルが何処かに詰まったのか、
自身の乳圧と床オナで気持ちよくなってしまったのか。
どちらにせよ街はおっばいに整地される以前に大惨事を迎える事となった。



街ズリとセルフパイズリにより勃起し巨大化したクロエの肉棒。
空を貫くその肉棒は街のどのビルよりも高く、
山をも超える高さで聳え立っていた。



そしてその山のようなちんぽは即座に大噴火を始めた。
射精の振動で街は震え、追い撃ちをかけるように
超巨大な精子が空から街に降り注ぐ。



街は全て精液に呑み込まれ、消滅した。
そんな足元の街には目もくれず、
クロエとその肉棒は更なる巨大化を始める。



巨大すぎる肉棒と金玉を引きずり回しながら街を転々とするクロエ。
人間は抵抗する気力さえも失い、ただちんぽに破壊されていく街を眺めることしかできなかった。



そしてそのちんぽは定期的に射精を解き放つ。
人間は定期的にトイレに行くし、ドラゴンは火を吹く。クロエの射精はその二つを組み合わせたようなものだ。



また1つの地域がチンポによる直接破壊と射精による大洪水で失われた。
当の本人はそんなことよりも、もっと性欲を満たすためにこの星ごとオナホにして射精することばかりを考えていた。

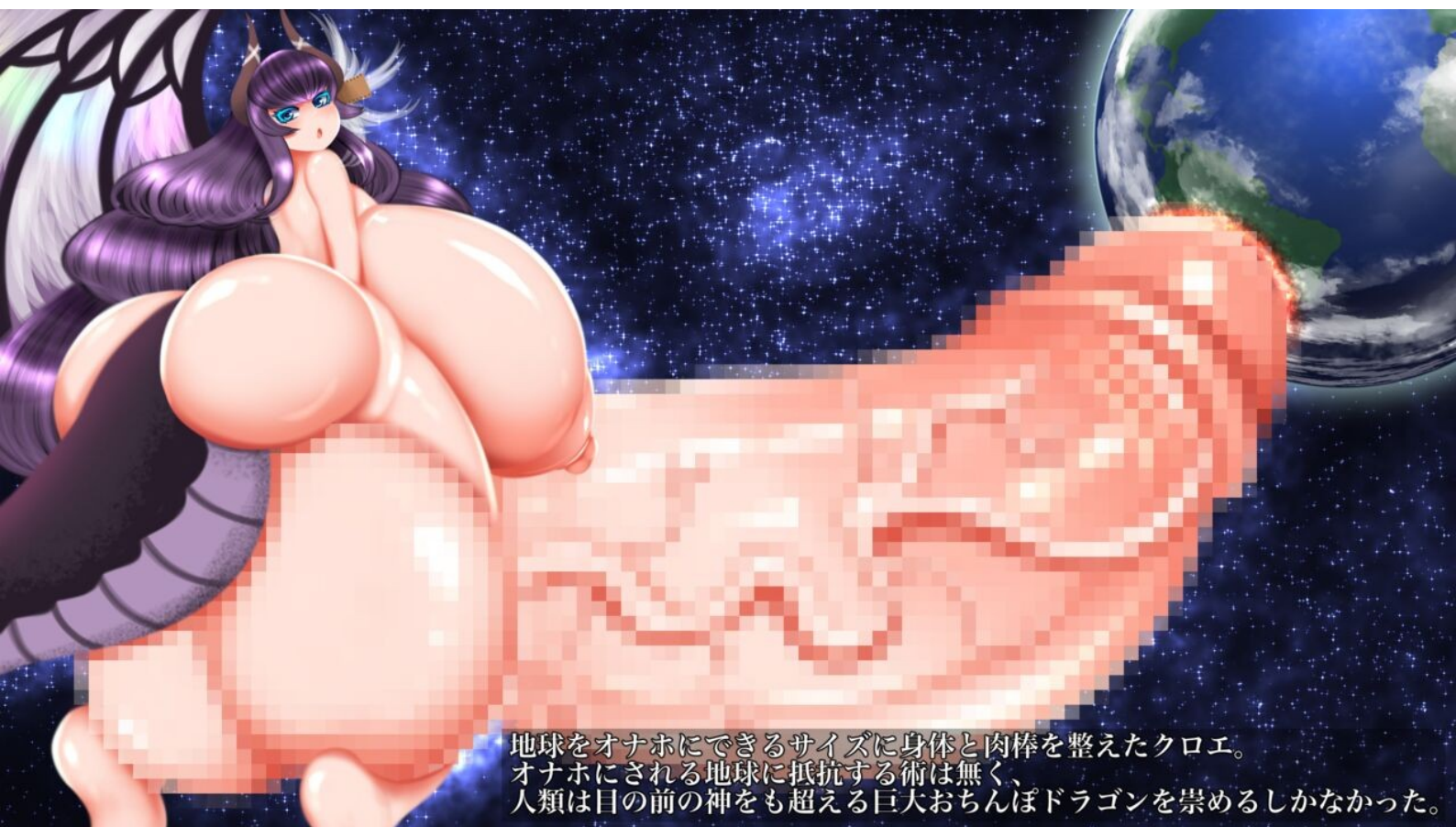


クロエの性欲はわかりやすく身体に反映されていく。
ちんぽもおっぱいもこんな小さな星では物足りなく、大きさを求めて宇宙へと飛び出していった。





そろそろ地球の大きさをも超えようとするクロエ。
地球と人類はこれまでに経験した事のない遭遇、そして終焉を迎えようとしている。



地球をオナホにできるサイズに身体と肉棒を整えたクロエ。
オナホにされる地球に抵抗する術は無く、
人類は目の前の神をも超える巨大おちんぼドラゴンを崇めるしかなかった。

一発で地上が崩壊しないよう、ゆっくりと肉棒に地球を突き刺す。
クロエさん的には優しく突き刺したつもりだがこの一突きで
地上の大部分が崩壊してしまった。



まだ腰を振ってもいないが、
地球内部のマグマの刺激だけでクロエは射精をしてしまう。
この衝撃により更に僅かに残っていた人類が消費されていく。





更なる勃起とともに地球は内側から大爆発してしまった。
80億近い人類と46億年の歴史はオナホとしても役立たないまま滅んでいくのだった。



地球以外の惑星の処理も始めるクロエ。
先程地球をオナホにした破壊した興奮からか肉棒は2本に増え、
性的興奮も2倍以上に膨れ上がる。

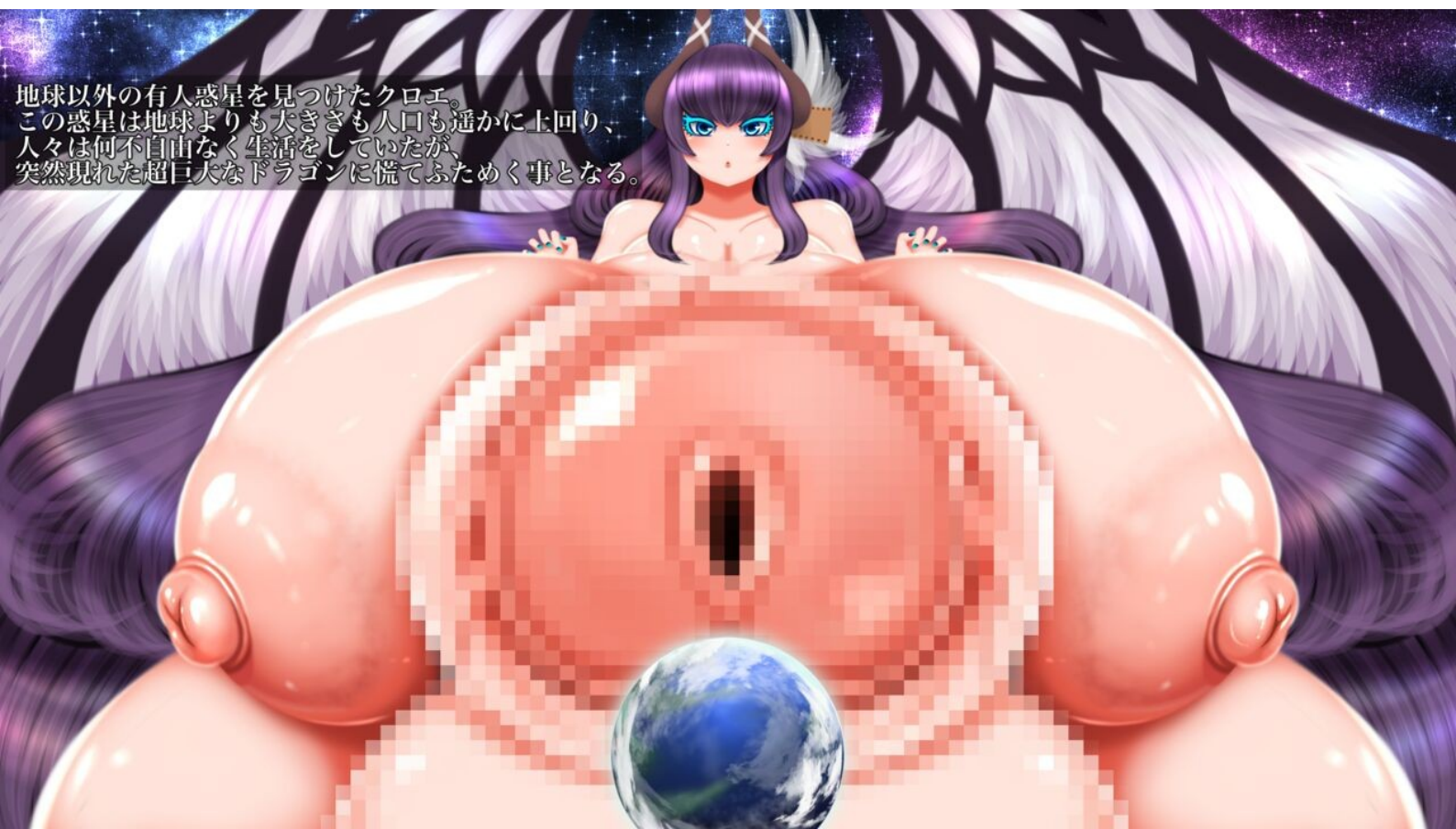


惑星に向けて超高火力射精が放たれる。
レーザービームのような勢いの精液と惑星よりも巨大な精子が太陽系を粉々に破壊する。

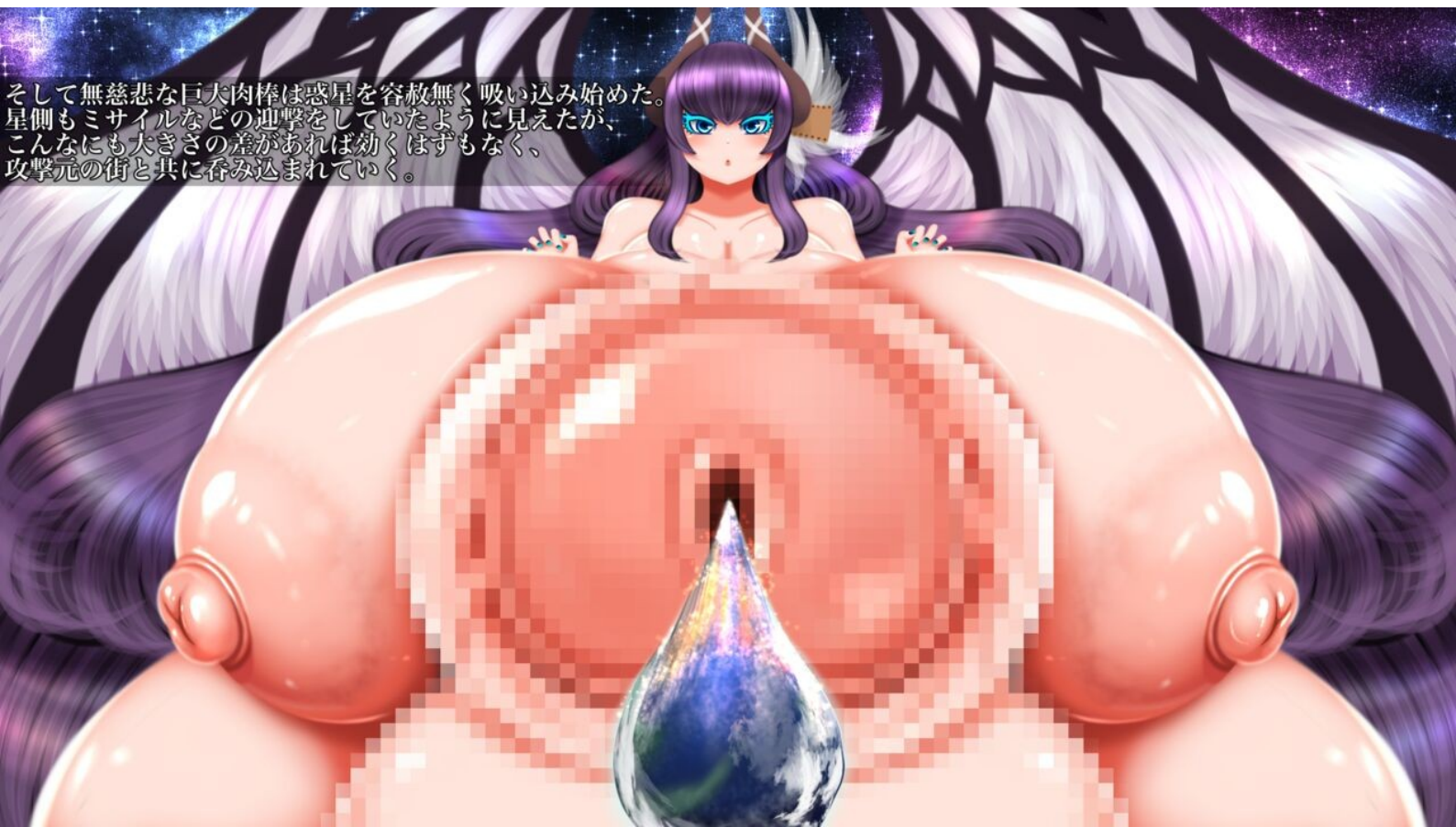


此処に存在したはずの太陽系。地球はオナホとして使い潰され、他の惑星は精液に呑まれ
跡形も無く消え去ってしまった。太陽自体もちんぽによって破壊されるのも時間の問題だろう。

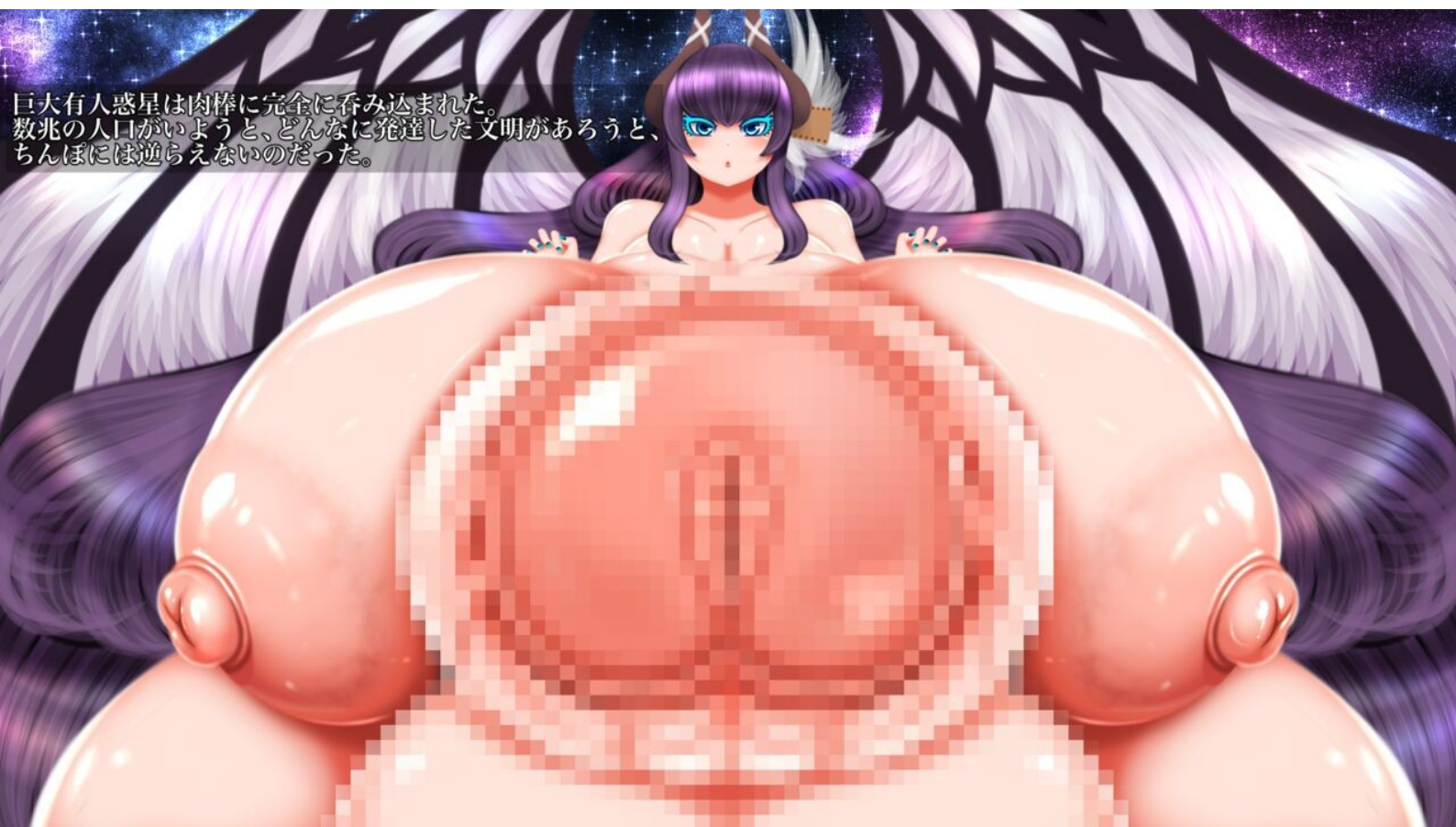
地球以外の有人惑星を見つけたクロエ。
この惑星は地球よりも大きさも人口も遥かに上回り、
人々は何不自由なく生活をしていたが、
突然現れた超巨大なドラゴンに慌てふためく事となる。



そして無慈悲な巨大肉棒は惑星を容赦無く吸い込み始めた。
星側もミサイルなどの迎撃をしていたように見えたが、
こんなにも大きさの差があれば効くはずもなく、
攻撃元の街と共に呑み込まれていく。



巨大有人惑星は肉棒に完全に呑み込まれた。
数兆の人口がいようと、どんなに発達した文明があろうと、
ちんぽには逆らえないのだった。





おっぱいも巨大化することによって勝手にセルフパイズリ状態となり、肉棒は勝手に膨れ上がっていく。怒り狂ったその肉棒は無差別に星々を呑み込んで、更に更に巨大化していく。



星では飽き足らず、宇宙中の銀河をかき集めたクロエ。無数の星を内包する銀河も巨大な肉棒の前では塵のように儼く、ただちんぽに呑み込まれる時を待つのみである。



一度肉棒に力を込めれば銀河達は掃除機に
吸い込まれるかのようにちんぽに吸収されその生涯を終える。



集めた銀河の全てを呑み込み終えたクロエ。
呑み込んだ銀河が逃げないように鈴口は硬く閉じられる。
強大なパワーと熱を持った銀河達はちんぽの中で沸騰するように
煮え滾り、精液と巨大化へのパワーへと変換されていく。



そして呑み込んだ銀河のパワーにより、
肉棒はとてつもないスピードで勃起と巨大化をしていく。



本人が制御しない限り肉棒の巨大化は止まる事を知らない。
最早肉棒が本体となり、
クロエの身体はちんぽに付着する虫のようであった。

暴走する銀河のパワーをちんぽだけでなくおっぱいにも分散をさせて、
肉体のバランスを保つ。この巨大なおっぱいの中にも
肉棒に呑み込まれた無数の生命が詰まっている。



そして相変わらずの吸引力で残りの銀河も全て呑み込んでいく。凄まじい量の銀河が呑み込まれていく姿はまるで液体のようにも見えた。



クロエのちんぽの中が銀河で満たされた。
ちんぽの中の星々は今、細胞の中に取り込まれるか、
精液に変換されてしまうかを選定されている。

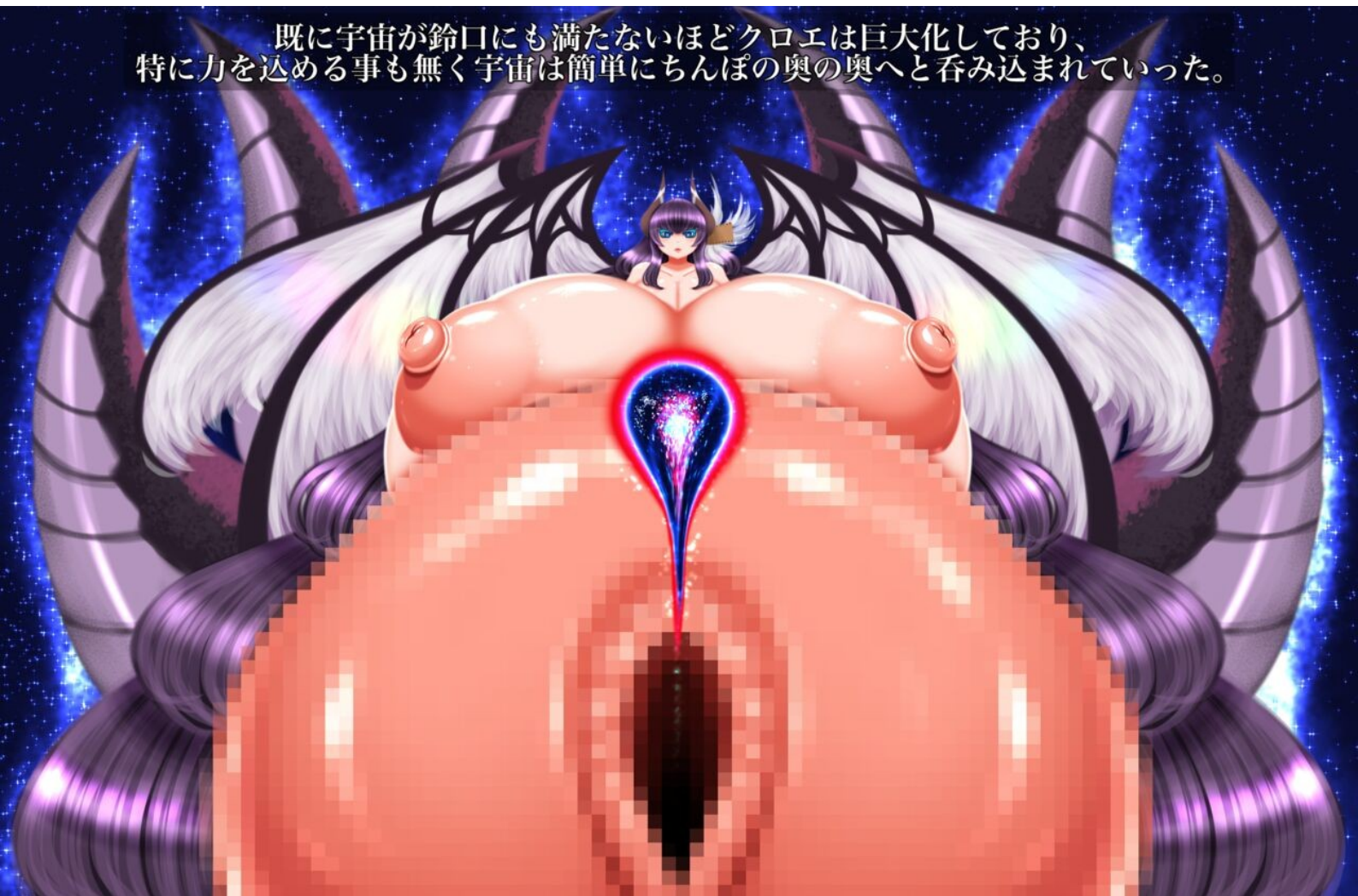




留まることを知らないクロエとその肉棒。ついに宇宙そのものを呑み込む時が来た。



既に宇宙が鈴口にも満たないほどクロエは巨大化しており、
特に力を込める事も無く宇宙は簡単にちんぼの奥の奥へと呑み込まれていった。

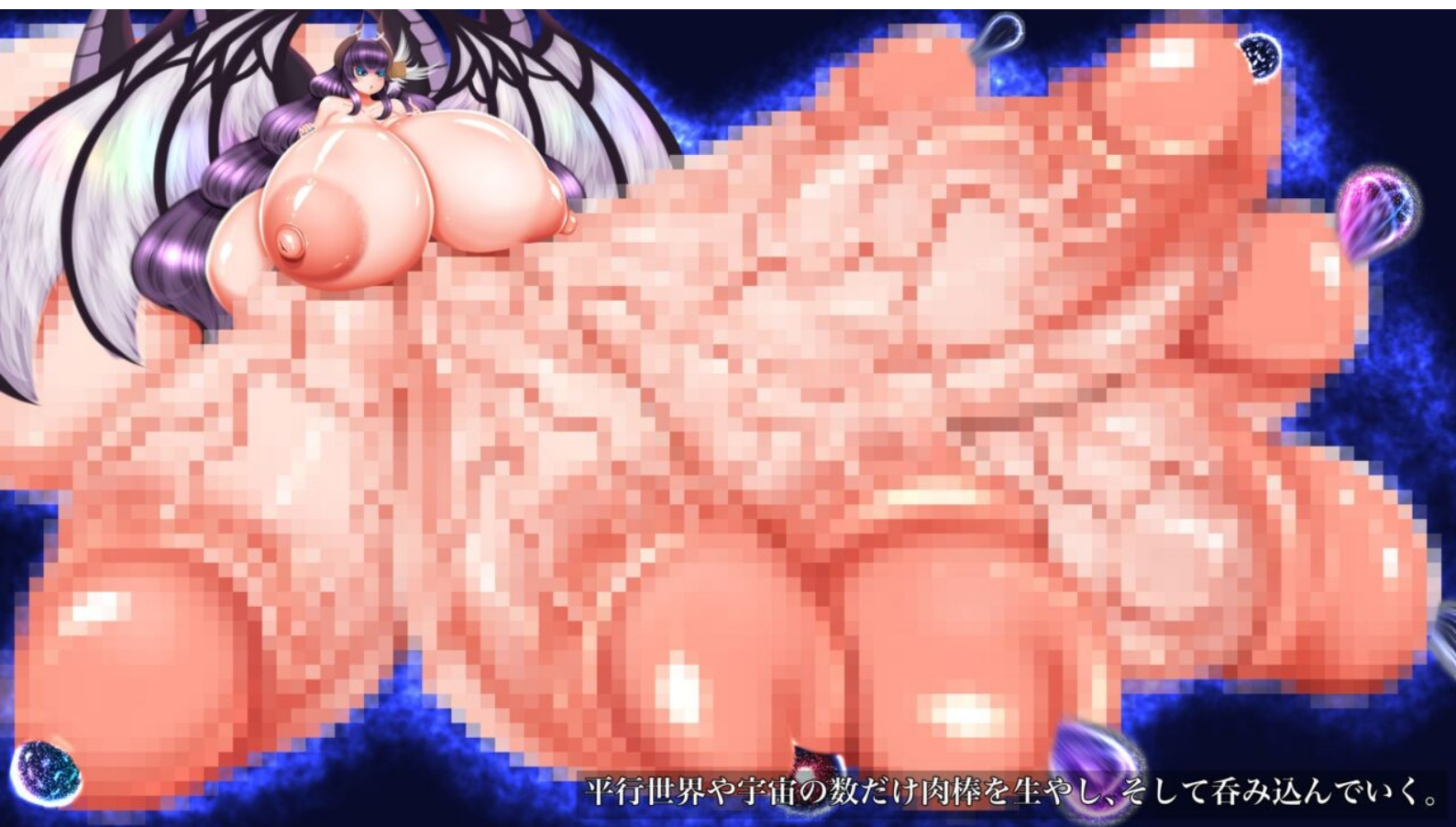


巨大な肉の門は硬く閉ざされた。
全ての生命の源だった宇宙がこれからどうなるかわからない、誰も知る由もない。





宇宙を一つ呑み込んだ程度でクロエの性欲は収まるはずもなかった。
宇宙が世界の全てではない。まだまだ呑み込める世界は無限に存在するのだった。



平行世界や宇宙の数だけ肉棒を生やし、そして呑み込んでいく。



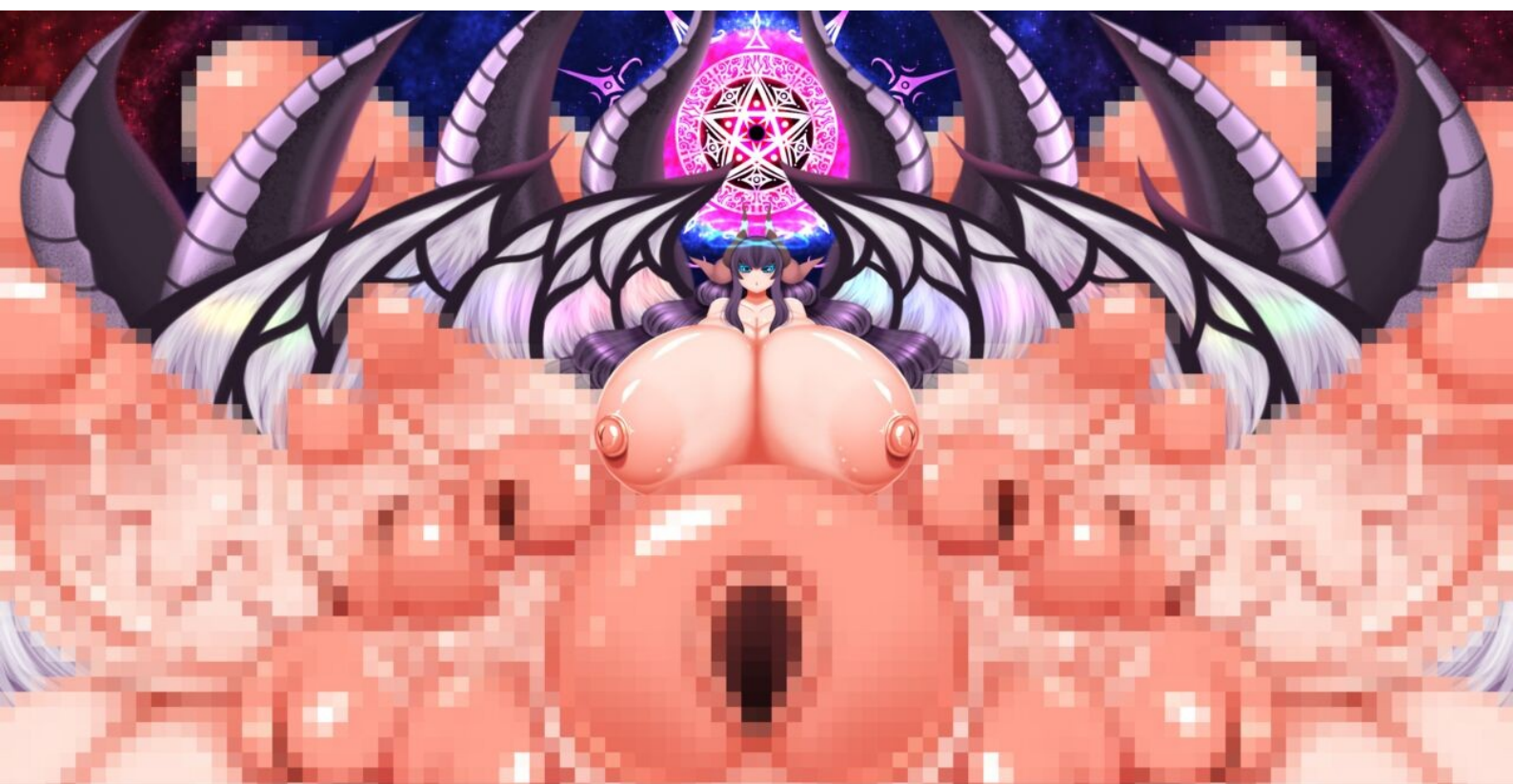
無限に存在する宇宙であっても、超巨大最強ドラゴンであるクロエに抵抗できる宇宙など1つも存在しなかった。人類を、星を、宇宙を内包する世界であってもクロエにとってはただのちんぽの餌でしかないのだから。



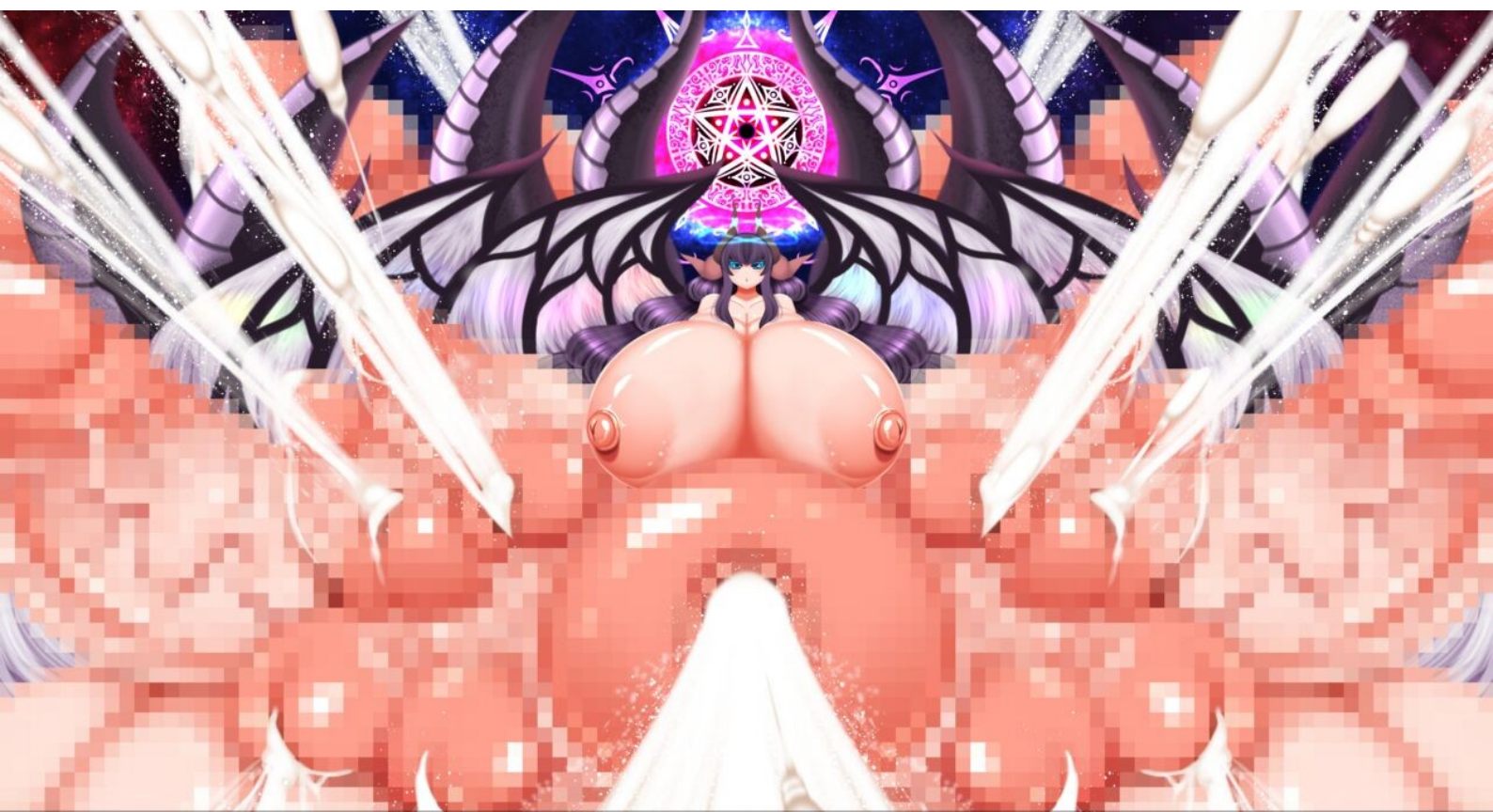
食後の大射精をぶちまけるクロエ。
肉棒一本一本に宇宙を与えることによって全てのちんぽを気持ちよくすることが出来るのだった。



勿論宇宙も世界もまだまだこれだけではない。
世界の全てを呑み込むためクロエの肉棒も無限に増殖していくのであった。



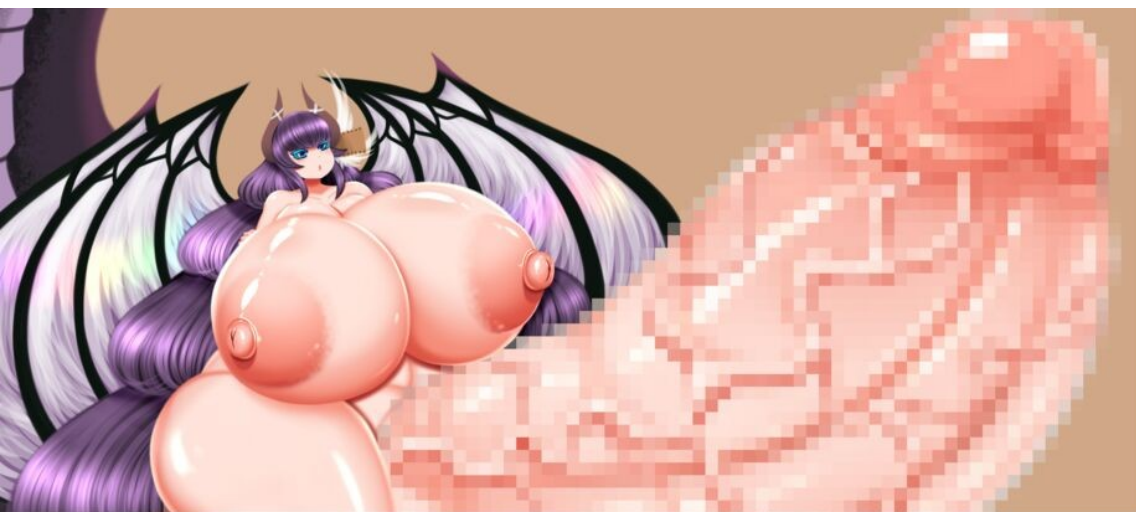
“無限”を超えてしまったクロエ。
世界は全て吸収され、肉棒へと生まれ変わり、クロエの究極の肉体の一部となった。
ドラゴン娘のちょっとした疑問が自身の逆鱗に触れ、世界をも呑み込むことになるとは本人も予想していなかったであろう。



クロエの性欲とともに、肉棒達は一斉に暴れ出す。最強ドラゴンによる最凶の射精が今解き放たれる。



瞬く間に全ては白濁に呑み込まれた。
これからも無限に巨大化し、増殖していくクロエのペニスと大量の精液によって、世界は生まれ変わるのだろう。



七曜クロエ
世界最強のドラゴン娘。しかし本人はその自覚すらもない。
というも、元々は別の世界で暮らしていたが、その世界でドラゴンとしての本来の力が危険過ぎると判断され、力と記憶を抹消されて地球に墮とされたため。
その際に自分の事を拾ってくれた七曜珈琲店というカフェでバイトをしている。
力は99.9999%以上抹消されたものの、残りの数%だけでもとんでもない力が残っており、パワー系ドラゴン少女として地元の人に愛されている。
力は持っているもののクロエには破壊衝動、支配欲、性欲というものが無かったためこれまで大規模に世界を破壊するようなことはしてこなかった。
故に最大まで巨大化した際のサイズはまだ未知数である。
ちんぼだけでなく、おっぱい、尻尾、翼の数も無限に増殖、巨大化が可能。